

古里を守る

と の や ま が の

# 留山川ダム



山形県村山総合支庁 建設部

山形総合ダム管理課

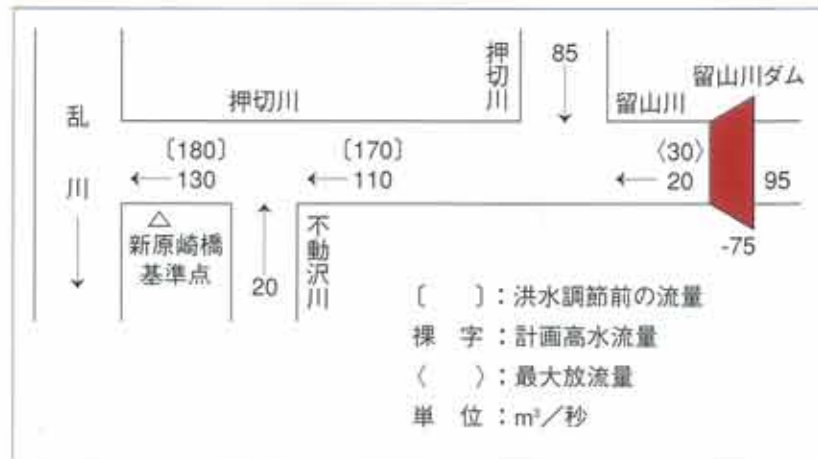
# 流域の概要

最上川水系押切川は山形県天童市に位置し、その源を三沢山(標高1,042m)に発し、山間部を北西に流下し、田麦野地区を流れて留山川を合流し、さらに北西に流下して山口地区で不動沢川を合流し、天童市の市街地北部を流れて今町地区で乱川に合流する流域面積28.3km<sup>2</sup>、流路延長18.5kmの一級河川です。

押切川流域は内陸盆地内にあり、降雨量は梅雨期、台風期に多く、特に台風期の豪雨により災害が多く発生しており、加えて豪雪地帯です。流域の年降水量は1,500mm、年平均気温は10℃です。

押切川の水利用は古くから行われ、主として農地かんがい用水に利用されており、中、下流部は河川沿いに耕地が広がり、稲作の他、畑作や果樹園に利用されています。

計画高水流量配分図



位置図



押切川流域図



# 留山川ダムの概要

留山川ダムは、最上川水系押切川支川留山川の山形県天童市大字山口地区内に生活貯水池として建設するものです。

ダムは、重力式コンクリートダムとして高さ46.0m、総貯水容量1,120,000m<sup>3</sup>、有効貯水容量1,000,000m<sup>3</sup>で洪水調節、既得取水の安定化、河川環境の保全を目的としています。



ダム及び貯水池諸元

河川名/最上川水系押切川支川留山川

位置/山形県天童市大字山口地区内

ダム	
形式	重力式コンクリートダム
堤高	46.0m
堤頂長	115.0m
堤体積	57,000m <sup>3</sup>
堤頂標高	EL.313.0m
非越流部標高	EL.313.0m
堤体法勾配	上流鉛直 下流1:0.78
堤頂幅	5.0m

貯水池	
集水面積	7.2km <sup>2</sup>
湛水面積	0.09km <sup>2</sup>
設計洪水位	EL.310.9m
サーチャージ水位	EL.308.4m
常時満水位	EL.300.0m
最低水位	EL.293.0m
総貯水容量	1,120,000m <sup>3</sup>
有効貯水容量	1,000,000m <sup>3</sup>
堆砂容量	120,000m <sup>3</sup>

貯水池容量配分図



# ダム

## ダムの目的

### 洪水調節

留山川ダムにより洪水調節することで、皆さんの暮らしを災害から守ります

押切川は、これまでにたびたび洪水被害が発生しております。最近では、平成11年8月13日及び平成17年8月20日に局部的な集中豪雨により護岸の決壊や道路が崩壊し、田畑でも浸水被害が発生しております。

留山川ダムでは、50年に1回程度の雨(204mm/24時間)が降った場合、国道48号の新原崎橋の地点で180m<sup>3</sup>/秒の洪水となりますが、留山川ダムにおいて75m<sup>3</sup>/秒を一時的に貯留することにより新原崎橋の地点で130m<sup>3</sup>/秒まで減少させることで、押切川での氾濫を軽減することができます。



### 既得取水の安定化

渇水の時でも農業用水が安定的に取水できるようにします

押切川の周辺では、水稲などに必要な水田かんがい用水、野菜・果樹等の生育や品質向上に必要な畑地かんがい用水として24カ所から取水し157haで利用しています。渇水期においては、留山川ダムで貯留している水を流して、今より安定的に取水できるようにします。



### 河川環境の保全

川の流れを清潔にすると共に、川に生息する動植物を保護します

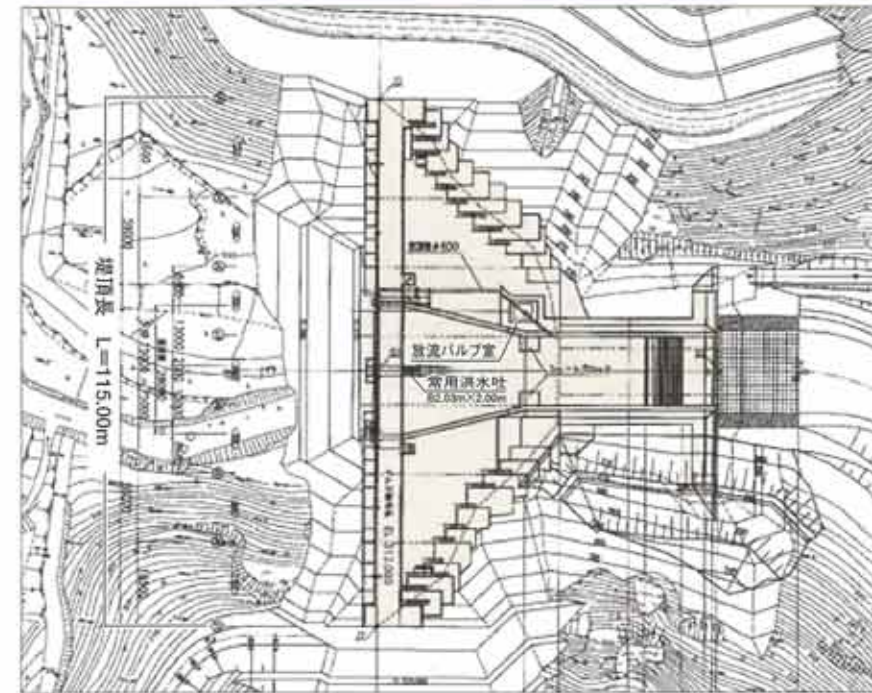
河川には、生活排水、工場廃水や畜産放牧場からの水が流入しますが、川の水が多い時は問題ありません。しかし、水が少ない渇水時には水質悪化が心配されます。このような時に、河川として最低限必要な水を流してきれいな川を目指します。また、留山川と押切川には、コイ、フナ、ウグイ、イワナ、ヤマメ、カジカ等が生息しており、渇水期においてもこれらの魚類が生息できる最低の水位を維持する水をダムから放流します。



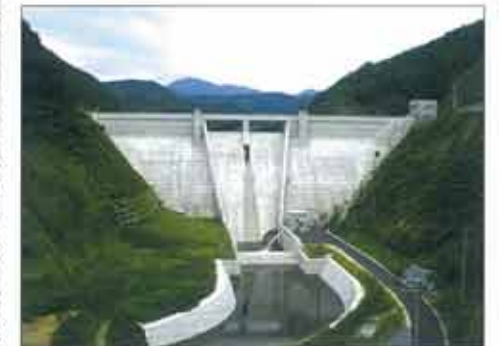
# ダム

## ダムの構造

### 平面図

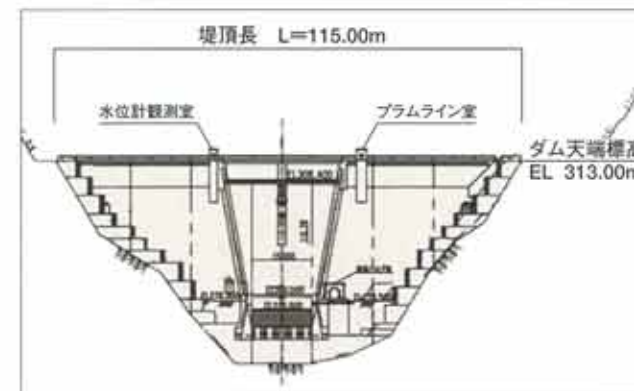


H18.5 ダム本体工事着手前(下流よりダムサイトを望む)

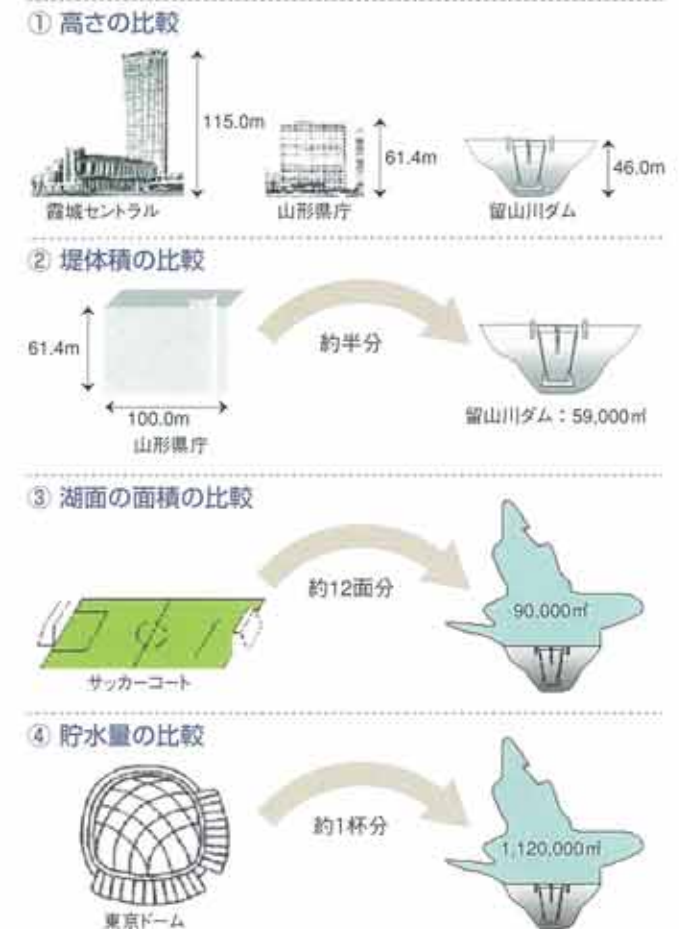


H23.5 ダム本体工事現況写真(下流よりダムサイトを望む)

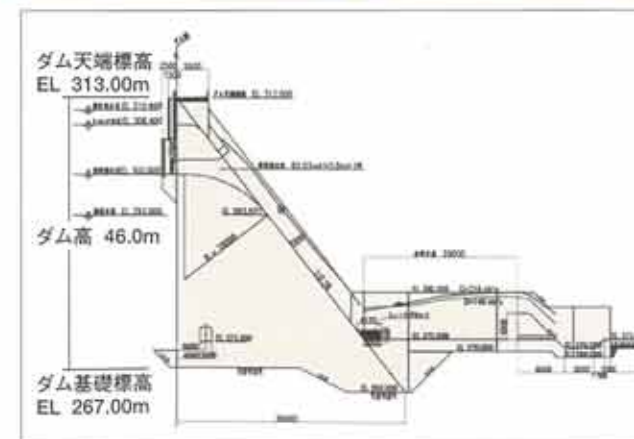
### 正面図(下流面)



### ダムの大きさ比較



### 断面図



# 留山川ダム

# 建設の歩み

上流より望む

平成18年4月  
着工前



平成19年5月  
堤体掘削工事の最盛期



平成20年6月  
堤体掘削完了・打設開始直前



平成21年7月  
コンクリート打設の最盛期



平成22年12月  
堤体完成・試験湛水中



平成23年6月  
工事最終期



下流より望む



右岸側



左岸側



# 留山川ダム周辺の自然と歴史

## ラ・フランス日本一!!

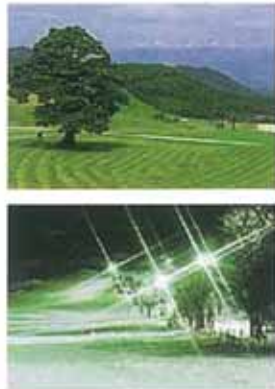


天童市ではサクランボ、桃、ぶどう、リンゴ、そしてラ・フランスと、果物が豊富に生産されます。その中でも、収穫量がぐんぐん伸びているのがラ・フランス。収穫量が全国の約80%を占めている山形県の中で、天童市は市町村別収穫量が第1位。天童市は日本一の産地なのです。

## 将棋駒生産日本一!!



江戸時代の末期に武士の内職として始められた天童市の将棋駒作りは、今では、全国の生産量の約95パーセントを占め、平成8年4月には、天童将棋駒が旧通産省の「伝統的工芸品」に指定されました。



### 天童高原&スキー場

700人収容のキャンプ場があり、夏になると、家族連れや青少年団体のキャンプでにぎわうほか、面白山登山やハイキングにも絶好な場所。秋には、天童特産牛肉と地酒やワインで楽しむ天童高原まつり。冬は約50ヘクタールの広さをもつファミリースキー場に早変わりし、スキーヤーでにぎわっている。

完成予想図▶

### 留山川ダム

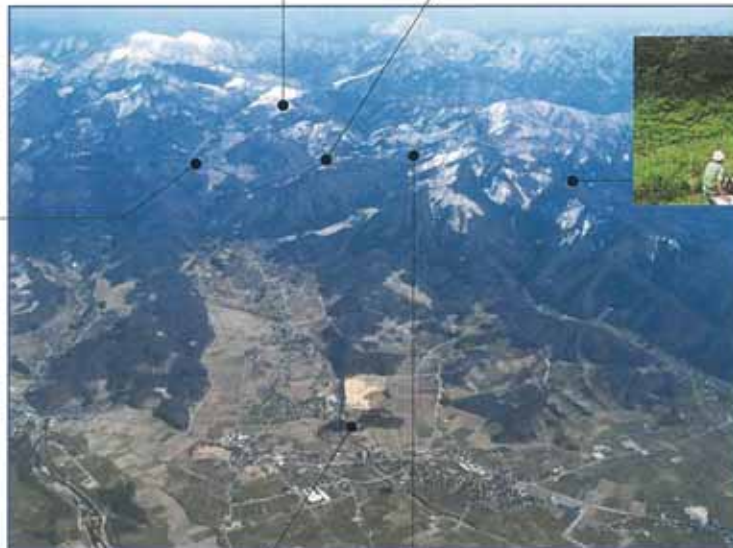
平成23年度の完成を目指し、鋭意工事を進めています。ダム周辺の環境整備についても地元の方々から意見をもらいながら整備を進めていきます。ダムの見学をしたい方は、下の連絡先までお電話ください。



### 天童市立高原の里交流施設ぼんぼこ



元小学校の建物を利用して、地域の人が先生になり様々な自然体験講座を行っている。



### ジャガラモガラ



ジャガラモガラは、雨呼山の北西の山腹、標高540mのところにある。東西約90m、南北約250m、深さ約100mのすり鉢状のくぼ地である。くぼ地の底でありながら水がたまらなく、ところどころに風穴があって、真夏でも3度から7度の冷たい風が吹き出ている。その冷たい空気がくぼ地を包み込むため、高山に見られる植物の垂直分布とは全く逆である。



▲自然体験講座の様子

### 妙見神社

押切川に突き出した妙見山にある鎮守の神社である。留山川ダムのマスコットのモデルになった「べんべこ太郎」のお墓もある。



### 高龍山不動尊

神亀元年(724)高僧行基が開眼したといわれ、雨呼山から流れる水が10数mの滝をつくり、この滝の正面に不動尊、左に阿彌陀如来が祀られている。この滝の水はハヤリ目などによく効くとされている。

### 若松寺(若松観音)



若松寺は縁結びの神様として、最上三十三観音の第一札所として知られている。また、若松寺観音堂(じゃくしょうじ・かんのんどう)は国指定重要文化財になっている。



山形県村山総合支庁 建設部 山形統合ダム管理課

山形県山形市小白川四丁目10-7 TEL.023-631-3526 FAX.023-625-3240